

健幸タイム



「美しさ」は自然界の摂理を映す鏡

なぜ、アンモナイトは美しいのか？

先日、ちょっと遅めのお墓参りで、奥さんの実家がある三笠市へ行ってきました。三笠市は「エゾミカサリユウ」という国の天然記念物指定の化石が発見されたり、アンモナイトの化石量が日本一だったり、知る人ぞ知る恐竜王国。別名「化石の博物館」と云われる三笠市博物館には、貴重な化石標本がたくさん展示されています。

以前、ここを訪ねた時に、展示されていたアンモナイトを見て、その美しさに感動したことがあります。均整のとれた渦巻きに、規則正しいらせん形、かわいさの中に感じる歴史とロマン、そして神秘性…。なぜ、アンモナイトって、あんなに美しいんでしょう？

それは、「黄金比にある」と、僕は思っているんです。「黄金比」とは、「長方形から正方形を切り取った時に、残りがモトの形と同じ長方形になる長方形」になる比率のこと…。説明がややこしいですか？

簡単に言つと「なんかキレイに見えるカタチ」ってことです(笑)

比率で表すと、(約)1:1.61803…。この比率の形は、なぜか「美しい」と感じる人が多いらしくて、ミロのヴィーナスやパルテノン神殿、ピラミッド、サグラダファミリアなどにも使われているとのこと。身近なところでは、名刺

やクレジットカード、Apoieのロゴも「黄金比」なのだそうです。

HADO(波動)研究家の山梨浩利先生曰く、「黄金比を美しいと感じるのは、おそらく脳の中の爬虫類脳はちゆうのうと呼ばれる本能的な部分が記憶している「生命体としてあるべき姿」を思い出しているからなのかもしれない」とのこと。

たしかに、黄金比は「DNAの螺旋構造らせん」にもあらわれているので、本能的なところで「共鳴」心地よさを感じているのかもしれないね。

自然界の法則を示す

「フィボナッチ数列」

自然界に多くみられる「数字の法則」にも、黄金比は深く関わっているようです。

例えば、花びらの枚数や植物の種にあらわれるらせんの数、植物の葉のつき方などは、「フィボナッチ数列」と言つて、フィボナッチさんが見つけた「自然界の法則」に沿っていることがわかっています。

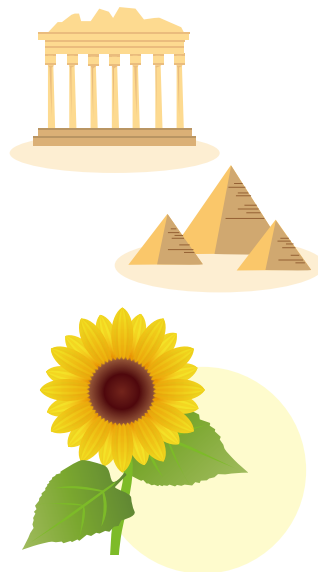
自然界の摂理の中にはこうした「厳然たる法則」があつて、その基準は「美しさ」として感じられる」って、なんだか素敵ですよ。

ちなみに、数学研究者の柳谷晃さんは、著書『真土の旅はなぜ四十九日なのか』で次のように述べています。

「そのような図形や数は、地球のシステムができて上がる過程で、人間の脳に何らかの形でインプットされたものと考えられます。

(中略)地球または宇宙ができたときに、決められた何かがあるようです」

大本教の出口王仁三郎さんが「芸術は宗教の母なり」という言葉を遺しているように、「美しさを感じる」ところは、「自分の中に自然界の摂理を映す鏡のようなもの」なのかもしれない。と、しみじみ感じた三笠市のお墓参りでした。



参考

「真土の旅はなぜ四十九日なのか」

(柳谷晃著・青春出版社)

アメブロ 鳴海周平の「こころとからだの健幸タイム」

鳴海周平プロフィール



1971年北海道生まれ。心身の波動を高める製品の開発・普及をおこなう(株)エヌ・ピュア代表。健幸エッセイスト、ヒーラーとしても、ラジオ番組や講演、ブログ、著作などを通じて「こころとからだの健幸情報」を発信している。著書に『医者いらずになる1分間健康法』『死ぬまでボケない1分間「脳活」法』(共に帯津良一氏との共著)、『[小食・不食・快食]の時代へ』(はせくらみゆき氏との共著)、『超快眼!CDブック』(大橋智夫氏・山梨浩利氏との共著)(すべてワニ・プラス刊)などがある。

アメーバブログ

<https://ameblo.jp/npure/>

エヌ・ピュア公式サイト

<https://npure.co.jp>



LINE

友達登録
こちらから